

令和5年第1回伯耆町議会定例会

一般質問通告書

令和5年3月14日該当日

目 次

1. 渡部 勇 議員（10番）	2
2. 細田 栄 議員（11番）	2
3. 乾 裕 議員（6番）	5
4. 長谷川 満 議員（4番）	5
5. 上田 博文 議員（2番）	6
6. 永井 欣也 議員（7番）	7
7. 幅田 千富美 議員（12番）	9
8. 大床 桂介 議員（1番）	10

1. 渡部 勇 議員 (10 番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. SDGs で、安心・ 安全な町づ くりを	国は総理大臣、県は知事、町においては町長、それぞれの立場で決断し、仕事ができると考える。町民や議会の思いを受けて、子育て予算、教育予算、産業育成予算など、大きな決断をして、持続可能なまちづくりをと考える。町長の考え・認識を問う。 (1) これまで長年地区別懇談会が開かれ町民の声を聞かれたと思うが平成 30 年度から区長協議会での資料配布となった。地区懇談会から区長協議会への資料配布となった経緯は。 また、今後 将来まちを担う人づくりに力を入れるような会を開催する考えはないか。 (2) 現在、写真美術館は冬季休館 (12 月～2 月末日) であるが、となりに大山ハムの直売所「テラスザダイセン」が昨年 9 月にオープンした。また、にぎわいの創出として、イベントの予算も決定した。美術館の休館をやめる考えはないか。 (3) 令和 5 年度予算に町長が決断し、決定した新規事業はなにか。	町 長
2. インボ イス制度導 入について 本町の対応 は	国税庁は今年 10 月 1 日からインボイス制度 (消費税の適格請求書保存方式) を導入し、自治体もこの制度を理解し対応をしなければならない。 (1) 総務省はこの制度の準備状況の調査を行ったが、理解が不十分と思われる自治体が相当数ある。本町の状況はどうか。 (2) 益税は問題・課題があると考ええる。これまで益税は 3 千億円～5 千億円あると言われている。本町において、免税事業者の取り扱いはどうに対応するか。 (3) この制度の猶予期間はあるか。また、この制度の延期を求めるか。	町 長

2. 細田 栄 議員 (11 番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. ロイヤ ルホテル大 山の経営移 譲について	ロイヤルホテル大山の関係者から聞いた話によるとホテルの経営を移譲する方針だと聞いた。 (1) このことについて町に説明があったと思うが、また大和ロイヤルホテル全国 24 か所一括移譲か、数か所か。移譲先の見当はついているか。 (2) 地元採用の大和リゾートの従業員はどうなるか。 (3) 分譲別荘地、リゾートマンションの販売と管理はどうなるか。	町 長

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
2. 農業法人等の後継者確保対策について	現状の農業法人等や担い手では、水田のこれ以上の利用権設定や水稲の基幹作業の受委託は困難であると聞いた。兼業農家は高齢化や後継ぎがいないため引き受けてもらえなければ荒らすしかないと言われておられる。 それと農業法人等も高齢化によりオペレーターなどの後継者がいないため、このままだと解散せざるをえないと農業委員会から問題提起があった。(議会基本条例に基づく町民と語る会、総務経済常任委員会と農業委員会との意見交換にて) 現在の農業法人等が解散すれば本町の水田農業は崩壊する。 (1) 農業の新規参入の補助金などそれなりの効果はあるが、現在の農業法人等に対する後継者対策が必要ではないか。 (2) 農業法人等がオペレーターなどを雇用した場合、非農業者であり、年齢要件を満たせば国の制度である農業次世代人材投資事業の補助対象になるか。(年齢 50 歳未満、年 150 万円×3 年間)、又このほかに法人等を維持するための人に対する補助制度があるか。 (3) 経済的に安定した兼業農家として維持していくためにはどうすればよいと思うか。	町 長
3. 外出支援事業の拡大について	スクールバスや高齢者等の福祉バスについては問題ないが、外出支援については利用者が要支援 2 以上の要介護認定を受けており、行先も医療機関、介護施設等に限定されている。介護認定を受けていない自立した高齢者等も米子市内の大きな病院を利用している者は多い、外来の他、入退院時にはタクシーを利用しなければならない人もいる。 現状のデマンドバスは、町内利用を中心にされており、米子市へのアクセスは考慮されていない。 日の丸バスの日野線や鉄道利用も考えられるが、バス停や駅までの距離、米子市内の移動を考えると足腰の弱い高齢者等にとっては現実的ではない。 (1) 核家族化の進展により、独居高齢者や高齢者のみの世帯が増加し、運転免許証を持たない方は負担が大きい、外出支援事業の利用対象者を拡大したり、タクシー代の補助を検討しないか。 現行制度では、人工透析患者に対し月額 3,000 円、出産時交通費助成として、1 子につき 1 万円の助成をしている。これらを含めて拡大しないか。	町 長

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
3. 外出支援事業の拡大について	(2) 全国的にも田舎の交通手段は深刻な問題として様々な手法が実証実験されている、本町でも利用ニーズなどの実態調査をされないか。タクシーの定額料金制の導入など、新しい方法も検討されているかどうか。 (3) 合併以前から実施していた過疎バス対策費(日野線・岩屋谷線)日の丸バスに対し年間1千8百万円あまり補助するよう当初予算で措置されている。 本町内の乗降客数は年間延べ何人くらいか。 日野線は平日16便あり、そのうち半数以上の9便が溝口・谷川止まり。7便が日野病院まで運行している。米子駅行きも16便運行されている。1時間に1便以上運行されているのに時々バスを見かけるが、ほとんど乗客がいない空バス状態である。便数を減らすとか、タクシー利用に移行を検討しないか。 (4) 該当路線の運賃収入は年額全体でいくらか。それは当該運行経費の何%に相当するか。 (5) 日野線の過疎バス対策として日の丸自動車に負担している自治体はどこか。負担の算定根拠はなにか。	町 長
4. 美術館と大山春雪さぶーる(株)大山工場との連携について	(1) 昨年9月に美術館隣にオープンした大山春雪さぶーる(株)大山工場は美術館の入館者数に影響はあったか。前年と対比して入館者の伸びはあったか。 (2) 昨年12月補正予算で措置した、美術館周辺にぎわい創出事業508万円、事業の進捗状況は。この事業は本年度(繰越)単発事業か。 (3) 美術館と大山春雪さぶーる(株)大山工場、双方のお客様を共有するための工夫はどのように考えているか。	町 長 教 育 長

3. 乾 裕 議員（6番）

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 二部公民館の全面改修について	本年2月25日から27日にかけて二部公民館を主会場として、第38回たたらまつりが3年ぶりに盛大に開催された。地域住民・公民館生等の作品展示、二部小学校開校150周年記念の特別展や農産物販売等を行い大盛況であった。私も見学をさせていただいたが、展示物は全て手作りであり制作にかかわった皆さんの喜びがあふれていた。その一方で気になったのは建物の老朽化である。町内の公共施設はほぼ改修されている。 二部公民館は、多目的トイレの設置等も含め、全面的な改修が必要と考えるが町長の考え方はどうか。	町 長 教 育 長
2. 障がい者手帳アプリ「ミライロID」について	私が提案した障がい者手帳等の情報をスマートフォン画面に表示できるアプリ「ミライロID」を本町が導入したと承知している。同アプリを障がい者が提示すると、美術館など町有施設で割引が受けられる。この「ミライロID」について説明を求める。 (1) 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のどのような情報が表示されるのか。 (2) 割引が受けられる施設一覧など町ホームページへの掲載は。 (3) 同アプリの導入についての当事者への周知の状況は。	町 長
3. 男性用個室トイレに「サニタリーボックス」の設置について	昨年9月定例会において町内公共施設の男性トイレの個室に「サニタリーボックス」の設置を求めたところである。その時の答弁では「すでに町内5カ所の施設に設置済み」とのことであったが、その後の取り組みについて伺う。	町 長

4. 長谷川 満 議員（4番）

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. ポストコロナ社会の予算編成について	ポストコロナ社会に向け、令和5年度の当初予算を基軸に、行政課題全般の変化に伴う全体像を問う。 (1) 令和5年度の予算編成と今後の財政状況の見通しは。 (2) 税収入が増加の見込みとあるが詳細について伺う。また、企業からの寄付の動向や、ふるさと納税の現在の状況はどうか。	町 長

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
2. 高齢者の世代を超えた活動促進について	近年、イベント事業は縮小を余儀なくされ、集落活動、ボランティア、スポーツ・文化振興などあらゆる面で制限されてきた。この閉塞感をいち早く打破するため、年代・ジャンルを問わず、地域全体として世代を超えたコミュニティ醸成に力を入れなければならない。 世代間交流を中心に本町の地域力を上げるべきと感じている。 (1) ねんりんピック 2024などを契機に、鳥取県全体でスポーツ・文化活動などが盛んになってくるが、本町はこれを踏まえてどう動くのか。 町内独自のプレイベントや取り組みは。 (e スポーツ推進、ゴルフ振興など) (2) コミュニティスクールの一環として、今以上に地域が学校と協力し、あらゆる場面で世代間交流を持つべきだが、授業やイベントを通して高齢者はもちろん、大人が入り込む機会増の考えはないか。	町 長 教 育 長

5. 上田 博文 議員 (2 番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
住民参加の地域交通の確立及びスクールバスの利便性向上について	(1) 現在、高齢者のデマンドバスの利用は、午後 2 時以降はスクールバスの利用となりデマンドバスとの違いは、スクールバスは大型バスのため幹線道路沿いの主要バス停しか運行できない。 このためスクールバスのバス停から自宅まで数百 m 以上の距離があり、また高齢者にとって坂道も多く、雪が降る時は歩くのが厳しいという条件の箇所が町内でも多く見受けられ、地域交通の利便性向上を求める声を聞く。 しかし、現状ではバス運転手不足や高齢化等により、デマンドバスの増便は難しいことは理解する。一方で、米子市永江団地、大山町、琴浦町、若桜町、鳥取市など鳥取県内のいくつかの市町で住民参加による共助交通システム(住民団体や NPO 法人等が、営利とは認められない範囲の対価により自家用車を使用して運送する)を実施または試験運行を始めている。 本町でも町内の交通空白地域の解消と本町の地域交通の利便性向上に向けて住民と協力して「共助交通」を検討してみないか。	町 長

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
住民参加 の地域交通 の確立及び スクールバ スの利便性 向上につい て	(2) 現在、塾やスポ少、遊びでの利用については有料になっているが、近年はスポ少の統合により交通手段の確保が必要となってきた。小中学生のスクールバスの利用について、すべて無料にすることも検討しないか。	町 長

6. 永井 欣也 議員 (7 番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 雪害か ら考える防 災のまちづ くり	この冬は降雪が多く、昨年 12 月中旬から下旬にかけて、また、年明け 1 月 24 日から 25 日にかけては風も強く、大雪警報が発令される大荒れの降雪、積雪となった。倒木等による通行止めや停電などが発生し、町民の生活にも大きな影響を及ぼした。 町では除雪車等を深夜からフル稼働し除雪に努められた。除雪が速かった遅かったとか、もう少しきれいにとの声もそく聞したが、町内全域が一度に大雪に見舞われた状況下、深夜から除雪に当たられた職員、作業員方々の労を多とします。 さて、この大雪は私たちにどのような教訓、対策の必要性を示したか。倒木による通行止めや断線による停電などは、防災の観点からも懸念が大きい。 本町においては、ケーブルテレビ網が各家庭に情報を提供する大きな役割を担っているが、断線による影響は雪害のみならず懸念される。 去る 2 月 10 日付の日本海新聞によると、鳥取県は倒木被害の恐れがある道路沿いの危険木の事前伐採を、市町村などと連携して進める考えを示したとのこと。 (1) これらのことを踏まえ、まずは防災のまちづくり、私たちが伯耆町で暮らしていくための生活基盤の整備・確保について、町長の基本的な考えを伺う。 (2) 今般の大雪により空き家に被害があり、その影響で住民の生活に支障をきたした事例があったか。あれば、その対応策と課題は。 (3) ハザードマップ上の土砂災害警戒区域、いわゆるレッド、イエローゾーンへの雪害の影響等を懸念するが、点検等実施の考えは。	町 長

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 雪害から考える防 災のまちづ くり	(4) 雪害によるケーブルテレビ送信網などへの影響は。また、課題はあったか。 (5) 通学バス、デマンドバスなどが大雪のために運休した日があったが、利用者からの声や影響は。	町 長
2. 文化財 の保護活用 について	本町においては、毎年、文化財保護事務の事業費が予算化され、指定文化財の維持管理・保存、町内で出土した文化財の整理・保存、町所有民具の整理・保存及び文化財の展示・活用等を行う施設の適正管理が行われている。 町内には国指定の文化財 1 件、国登録 1 件、県指定 2 件、町指定 11 件があり、その他にも地域の身近な文化財も数多く存在すると思料する。 第 2 次伯耆町教育振興基本計画の中で、「芸術文化の振興と豊かな人間性の創造」に関する取組方針で、文化財の保存と活用について町民が文化財や伝統行事をとおして歴史や文化を誇りに思い、有形・無形の文化財を地域で大切に作る気運を醸成するとある。 去る 2 月 25 日から 27 日まで開催された第 38 回二部公民館たらまつりの特別展「学びの夜明け寺子屋から」を見学した二部小学校の児童が NHK のインタビューに「こういった歴史があったんだと学習することができ、もっと詳しく知りたい。」と答えていた。 (1) 文化財あるいは歴史文化を保存活用することが、住民自らがまちづくりに関わっていくという点で重要と考えるが、教育長の所見を伺う。 (2) 前述した指定あるいは登録文化財はどのような保存活用状況か。 (3) 町内の出土物、町所有民具の整理・保存状況とこれからの活用について。	教 育 長

7. 幅田 千富美 議員 (12 番)

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
1. 新型コロナウイルス「5類」への移行について	政府は、新型コロナ対策の失敗を認めないまま5月8日から感染症の位置づけを季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げると決定した。 (1) 本町内でのこれまでの感染状況、クラスター、死者、コロナ後遺症、ワクチン副作用、医療現場のこれまでの状況をどう把握し総括しているか。 (2) 無料のPCR検査は、感染拡大を防ぐため重要だが、いつまで実施されるのか、国、県の対応は。 (3) 公立病院のない本町にとって医療体制は大丈夫か。 (4) 第9波が来ない対策をどう取り組むか。	町 長
2. 子育て支援の抜本的強化について	(1) 学校給食完全無料化 その実施にあといくら必要か。 (2) 中学生新1年生の制服が新しくなるが、費用はいくらかかるか。その支援をしないか。 (3) 0～2歳までの保育料無償化 その実施にいくら必要か。 (4) 18歳までの子どもの医療費完全無料化 その実施にあといくら必要か。 (5) 国保税、18歳までの子どもの均等割無料化 その実施のため、あといくら必要か。 (6) 国が「異次元の子育て支援」と言っている時、町から実施し、国、県を動かすこと。	町 長 教 育 長
3. 西部広域のエコスラグセンターについて	西部広域エコスラグセンターは平成16年4月稼働、以後10年程で稼働停止。その後プラスチック選別処理施設に機能変換したものの計画通りに行かず廃止を決定。令和元年に施設の解体を決定。令和7, 8年に解体実施となっていた。 昨年、急遽社会資本の有効活用を目的にサウンディング市場調査を行うということであったが、その後の経過について問う。 また、この施設が本町に建設された経緯から廃止に至った理由、及び今後、解体等に要する経費見込みはどうか。	町 長

8. 大床 桂介 議員（１番）

質問事項の 題 名	要 旨 (具体的に記入してください。)	質 問 の 相 手
本町の引きこもり支援について	全国的に 8050 問題といった大人のひきこもりが社会問題となっている。ひきこもりは、社会的参加（就学、就労、家庭外での交遊など）をしないで、6 か月以上にわたって家庭内にとどまっている状態を指します。 本町の引きこもり状態にある方およびその家族への支援について伺う。 (1) 全国的に問題となっているひきこもりに関して、町長はどのように感じているのか。そのような方への支援について、本町は十分実施できていると考えているか。 (2) 県、本町のひきこもりの状態にある方の実態を伺う。その調査方法や近年の傾向がわかるか。 (3) 現在、ひきこもりの方に対する国の方針、県の支援体制はどのようなになっているか。 (4) 本町での相談窓口、支援体制はどのようなになっているか。また、就労支援についてハローワーク、地域若者サポートステーションとの連携はどのようにしているか。実績はあるか。 (5) 町内外で、ひきこもりの方たちが集う場はあるか。あるのならどこか。また、その家族の方が集う場があるか。それぞれ、どのくらいの方が利用されているか。 (6) 町内に「居場所づくり」をすすめてみてはどうか。 (7) 住民への啓発はどのようにしているか。住民のサポーター養成や支援員養成を検討してみてはどうか。	町 長